

令和5年度
事業報告書



学校法人 行吉学園

目次

I 法人の概要	1
1 基本情報	1
2 建学の精神・教育綱領	1
3 法人の沿革	2
4 学校・学部・学科等の定員と現員（令和5年5月1日現在）	3
5 学生・園児数の推移及び収容定員充足率（過去5年間）	4
6 教職員数の推移（過去5年間）	4
7 役員の概要（令和5年7月1日現在）	5
8 評議員の概要（令和5年7月1日現在）	6
9 理事会・評議員会の開催状況（令和5年度）	7
10 施設等の状況（令和6年3月31日現在）	9
11 法人組織構成図（令和5年4月1日現在）	10
II 事業の概要	12
1 主な教育・研究の概要	12
（1）卒業の認定に関する方針	12
（2）教育課程の編成及び実施に関する方針	12
（3）入学者の受入れに関する方針	12
2 令和5年度事業計画の進捗状況	12
（1）教育に関する目標を達成するための計画	12
（2）研究に関する目標を達成するための計画	13
（3）社会貢献に関する目標を達成するための計画	14
（4）学生の進路に関する目標を達成するための計画	14
（5）学生支援に関する目標を達成するための計画	15
（6）施設・設備に関する目標を達成するための計画	16
（7）入試広報に関する目標を達成するための計画	16
（8）幼稚園に関する目標を達成するための計画	16
（9）組織に関する目標を達成するための計画	16
（10）財政に関する目標を達成するための計画	17
別記（1-2）教育内容に関する目標（各学科・研究科等）を達成するための計画	18
① 神戸女子大学	18
② 神戸女子大学大学院	21
③ 神戸女子短期大学	22
3 特記事項	23
（1）卒業者・修了者数の状況	23
（2）国家試験の受験・合格状況	24
（3）学修支援センター等	24
（4）国際交流事業	25
（5）図書館	27
（6）研究	28
（7）古典芸能研究センター	30
（8）学生	32
（9）保健室	34
（10）教職支援	35
（11）就職支援	37
（12）入試広報	37
（13）収益的事業	38
（14）幼稚園	39

目次

Ⅲ 財務の概要	4 1
1 決算の概要	4 1
（1）貸借対照表関係	4 1
（2）資金収支計算書関係	4 1
（3）事業活動収支計算書関係	4 3
2 その他	4 4
（1）有価証券の状況	4 4
（2）借入金の状況	4 4
（3）学校債の状況	4 4
（4）寄付金の状況	4 4
（5）補助金の状況	4 5
（6）収益事業の状況	4 5
（7）関連当事者との取引の状況	4 5
（8）学校法人間財務取引	4 5
3 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策	4 5

I 法人の概要

1 基本情報

- (1) 法人の名称 がっこうほうじんゆきよしがくえん
学校法人行吉学園
- (2) 主たる事務所 兵庫県神戸市中央区港島中町四丁目7番2号
代表電話番号 078 (303) 4700
ホームページ <https://www.yg.kobe-wu.ac.jp/>

2 建学の精神・教育綱領

建学の精神

本学園の教育は 民主的で文化的な国家を建設して 世界の平和と人類の福祉に貢献しようとする有為な女性を育成するにある そのためには 人格の完成をめざし 平和的な国家および社会の形成者として 真理と正義を愛し 個人の価値をたっとび 勤労と責任を重んじ 自主的精神に充ちた心身ともに 健康な国民の育成に力をつくすにある

教育綱領

学術の研究を通して人生社会に対する広い視野と深い洞察とを身につけ 識見高く 心情豊かな女性を育てる

個性の伸長をはかり 社会に貢献しうる人材を育てる

勤労を愛し 義務と責任を重んじ 自律的に行動する態度を養う

宗教的情操を培い 謙虚にして愛情深く よく苦難に耐え 常に信念に生きる女性を育てる

明朗にして礼節あり 健康にして柔軟な心身の持ち主となり よく世代を導きうる女性を育てる

3 法人の沿革

昭和 15 年 11 月	神戸新装女学院を設立
” 21 年 9 月	財団法人神戸新装女学院に組織変更
” 25 年 4 月	神戸女子短期大学服装科を設置
” 26 年 2 月	学校法人行吉学園に組織を変更
” 41 年 4 月	神戸女子大学家政学部を設置
” 44 年 4 月	神戸女子大学文学部を設置
” 48 年 4 月	神戸女子大学附属高倉台幼稚園を設置
” 59 年 4 月	神戸女子大学大学院家政学研究科食物栄養学専攻を設置
” 61 年 4 月	神戸女子大学大学院文学研究科日本文学専攻、英文学専攻、日本史学専攻を設置
” 62 年 4 月	神戸女子大学大学院文学研究科教育学専攻を設置
平成元年 4 月	神戸女子大学瀬戸短期大学を設置
”	神戸女子大学大学院家政学研究科食物栄養学専攻及び文学研究科教育学専攻に博士課程を設置
” 3 年 4 月	神戸女子大学大学院文学研究科日本史学専攻に博士課程を設置
” 4 年 4 月	神戸女子大学大学院文学研究科英文学専攻に博士課程を設置
”	法人本部及び神戸女子短期大学を移転
” 5 年 4 月	神戸女子大学大学院文学研究科日本文学専攻に博士課程を設置
” 7 年 4 月	神戸女子大学大学院家政学研究科生活造形学専攻を設置
” 8 年 4 月	神戸女子大学文学部に社会福祉学科を設置
”	神戸女子短期大学に総合生活学科・食物栄養学科を設置
”	神戸女子大学瀬戸短期大学に生活専攻・食物栄養専攻を設置
”	神戸女子短期大学初等教育科を初等教育学科に名称変更
”	神戸新装学院を廃止
” 9 年 4 月	神戸女子大学大学院家政学研究科生活造形学専攻に博士課程を設置
” 10 年 6 月	神戸女子短期大学服装科・家政科を廃止
” 11 年 4 月	神戸女子大学瀬戸短期大学英語科を文化コミュニケーション科に名称変更
” 13 年 4 月	神戸女子大学瀬戸短期大学文化コミュニケーション科の募集停止
” 14 年 7 月	神戸女子大学瀬戸短期大学文化コミュニケーション科の廃止認可
” 15 年 4 月	神戸女子大学瀬戸短期大学生活科の募集停止
”	神戸女子大学学校教育学専攻科の設置
” 16 年 5 月	神戸女子大学瀬戸短期大学の廃止認可
” 18 年 4 月	神戸女子大学健康福祉学部健康福祉学科、文学部日本語日本文学科、文学部英語英米文学科、文学部神戸国際教養学科を設置
”	神戸女子大学文学部文学科、文学部社会福祉学科の募集停止
”	神戸女子短期大学専攻科保育専攻を設置（平成 23 年 3 月廃止）
” 21 年 4 月	神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科を設置、同学部健康福祉学科を社会福祉学科に、神戸女子短期大学初等教育学科を幼児教育学科に名称変更
” 23 年 4 月	社会福祉法人神女さずな会を設立し、神女中山手保育園を開設
” 27 年 4 月	神戸女子大学看護学部看護学科を設置
” 28 年 4 月	神戸女子大学大学院健康栄養学研究科健康栄養学専攻を設置
” 30 年 4 月	神戸女子大学文学部神戸国際教養学科を国際教養学科に名称変更
” 31 年 4 月	神戸女子大学大学院看護学研究科看護学専攻を設置
令和 3 年 3 月	神戸女子大学附属高倉台幼稚園を廃止
” 3 年 4 月	幼保連携型認定こども園神戸女子大学附属高倉台幼稚園を設置
” 4 年 4 月	神戸女子大学心理学部心理学科を設置
” 5 年 3 月	神戸女子大学学校教育学専攻科の廃止

4 学校・学部・学科等の定員と現員（令和5年5月1日現在）

（単位：人）

区 分	学部・学科等		入学定員	入学者数	収容定員	現 員	摘 要	
神戸女子大学大学院 (昭和59年4月設置)	家政学研究科 (博士課程)	食物栄養学専攻	前期	8	4	16	11	
			後期	2	0	6	1	
		生活造形学専攻	前期	6	1	12	1	
			後期	2	0	6	0	
	(小 計)			18	5	40	13	
	文学研究科 (博士課程)	日本文学専攻	前期	4	0	8	1	
			後期	2	1	6	1	
		英文学専攻	前期	4	0	8	0	
			後期	2	0	6	1	
		日本史学専攻	前期	4	1	8	2	
			後期	2	0	6	0	
	(小 計)			24	2	56	7	
	健康栄養学研究科 (修士課程)	健康栄養学専攻		4	5	8	14	
	看護学研究科 (博士課程)	看護学専攻	前期	8	10	16	22	
			後期	3	5	9	17	
		(小 計)			11	15	25	39
(合 計)			57	27	129	73		
神戸女子大学 (昭和41年4月設置)	家政学部	家政学科	80	58	320	291		
		管理栄養士養成課程	150	130	620	550		
		(小 計)	230	188	940	841		
	文学部	日本語日本文学科	60	40	240	194		
		英語英米文学科	60	19	240	150		
		国際教養学科	60	21	220	137	令和3年度定員変更	
		史学学科	60	34	240	177		
		教育学科	165	73	660	455		
	(小 計)		405	187	1,600	1,113		
	健康福祉学部	社会福祉学科	80	52	320	232		
		健康スポーツ栄養学科	80	71	320	252		
		(小 計)	160	123	640	484		
	看護学部	看護学科	90	109	360	367		
	心理学部	心理学科	80	102	160	182		
(合 計)			965	709	3,700	2,987		
神戸女子短期大学 (昭和25年4月設置)	幼児教育学科	80	22	160	62	令和2年度定員変更		
	総合生活学科	100	42	200	104	令和2年度定員変更		
	食物栄養学科	60	34	120	77	令和2年度定員変更		
	合 計		240	98	480	243		
幼保連携型認定こども園神戸女子大学附属高倉台幼稚園 (令和3年4月設置)			※54	28	170	146	幼稚園から移行	
総 計			1,316	862	4,479	3,449		

*認定こども園の入学定員欄は5歳児（卒園児）の定員を表す

5 学生・園児数の推移及び収容定員充足率

(毎年度5月1日現在：人)

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
大 学 院	家政学研究科	博士前期	10	10	12	16	12
		博士後期	7	4	3	2	1
	文学研究科	博士前期	5	4	4	4	3
		博士後期	6	5	6	5	4
	健康栄養学研究科	修士課程	8	8	9	14	14
	看護学研究科	博士前期	9	15	19	19	22
		博士後期	5	8	13	14	17
	合 計	博士前期	32(修士を含む)	37(修士を含む)	44(修士を含む)	53(修士を含む)	51(修士を含む)
		博士後期	18	17	22	21	22
収容定員充足率		43.5%	42.9%	51.2%	57.4%	56.6%	
大 学	家政学部	981	945	914	878	841	
	文学部	1,716	1,703	1,598	1,348	1,113	
	健康福祉学部	584	594	543	522	484	
	看護学部	361	357	353	348	367	
	心理学部	-	-	-	81	182	
	合 計	3,642	3,599	3,408	3,177	2,987	
	収容定員充足率		106.5%	104.0%	97.7%	88.3%	80.7%
学校教育学専攻科		0	0	0	1	-	
短期大学	幼児教育学科	159	145	110	84	62	
	総合生活学科	193	205	174	130	104	
	食物栄養学科	186	151	117	96	77	
	合 計	538	501	401	310	243	
	収容定員充足率		79.1%	73.7%	69.1%	64.6%	50.6%
幼稚園 (認定こども園)	合 計	140	158	155	155	146	
	収容定員充足率		70.0%	79.0%	96.9%	91.2%	85.9%

6 教職員数の推移 (過去5年間：毎年5月1日現在)

(単位：人)

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
本務教員	神戸女子大学	185	186	182	190	188
	神戸女子短期大学	38	36	34	32	29
	高倉台幼稚園	8	13	13	13	12
	合 計	231	235	229	235	229
兼務教員	合 計	318	326	327	327	326
本務職員	法人本部	8	8	9	8	9
	神戸女子大学	68	71	74	76	86
	神戸女子短期大学	10	10	7	7	6
	高倉台幼稚園	3	3	3	3	4
	合 計	89	92	93	94	105
兼務職員	合 計	132	97	122	135	110
本務教職員合計		320	327	322	329	334

*本務教職員(平均年齢)教員 52.5 歳・職員 48.4 歳、(平均勤続)教員 10.5 年、職員 14.4 年 [令和5年5月1日現在]

7 役員概要（令和5年7月1日現在）

(1) 理事

[定数：8名 任期：4年]

区分	氏名	常勤・非常勤	就任年月日	主な現職等
理事長	多畑 寿城	常勤	令和4年4月1日 (令和5年7月1日 理事長就任)	
理事	栗原 伸公	常勤	平成30年6月29日	神戸女子大学長・神戸女子短期大学長
	三宅 茂夫	常勤	令和5年7月1日	神戸女子大学副学長・神戸女子短期大学副学長
	伊吹 眞澄	常勤	平成30年6月29日	(学) 行吉学園法人本部長
	中岡 弘一	常勤	令和5年7月1日	神戸女子大学・神戸女子短期大学事務局長
	今井 修平	非常勤	平成18年4月1日	
	根岸 成直	※非常勤	平成18年6月29日	
	小川 清四郎	※非常勤	平成30年6月29日	

※印：外部理事・非業務執行理事

(2) 監事

[定数：3名 任期：4年]

区分	氏名	常勤・非常勤	就任年月日	主な現職等
監事	横田 成樹	非常勤	平成26年6月29日	
	亀井 尚也	非常勤	平成23年5月27日	弁護士
	打越 信男	非常勤	令和3年6月29日	

(3) 責任免除・責任限定契約、役員賠償責任保険契約の状況

ア 責任の免除

学校法人行吉学園寄附行為において次のとおり責任の免除等を定めている。

(責任の免除)

第47条 役員が任務を怠ったことによって生じた損害についてこの法人に対し賠償する責任は、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がなく、その原因や職務執行状況などの事情を勘案して特に必要と認める場合には、役員が賠償の責任を負う額から私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の規定に基づく最低責任限度額を控除して得た額を限度として理事会の議決によって免除することができる。

(責任限度契約)

第48条 理事（理事長又はこの法人の職員でないものに限る。）又は監事（以下この条において「非業務執行理事等」という。）が任務を怠ったことによって生じた損害についてこの法人に対し賠償する責任は、当該非業務執行理事等が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、金30万円以上であらかじめ定めた額と私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の規定に基づく最低責任限度額とのいずれか高い額を限度とする旨の契約を非業務執行理事等と締結することができる。

イ 責任限定契約

対象役員の氏名	非業務執行理事 根岸 成直 ・ 小川 清四郎 監 事 横田 成樹 ・ 亀井 尚也 ・ 打越 信男
契約内容の概要	非業務執行理事又は監事がその職務を行うに当たり善意でかつ重大な過失がないときは、金30万円と、在職中に学校法人から職務執行の対価として受け、又は受けるべき役員報酬の1年間あたりの額に相当する額として私立学校法施行規則第3条の3に定める方法により算定される額に2を乗じて得た額との、いずれか高い額を限度として、損害賠償責任を負うものとする。ただし、損害額のうち責任限度額を上回る部分については当然に免責するものとする。
契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置	契約の内容として、役員が職務を行うに当たり善意でかつ重大な過失がないときに限る旨を定めている。

ウ 役員賠償責任保険契約

団体契約者	日本私立大学協会	引受保険会社	東京海上日動火災保険株式会社
被保険者	記名法人……………学校法人行吉学園 個人被保険者……………理事、監事		
保険期間	2023年4月1日(午後4時)から2024年4月1日(午後4時)まで		
補償内容	(1) 役員(個人被保険者) ……法律上の損害賠償金、争訟費用等 (2) 記名法人……………法人内調査費用、第三者委員会設置・活動費用等		
支払いの対象とならない主な場合	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者が私的な利益または便宜の供与を違法に得たことに起因する対象事由 ・被保険者の犯罪行為に起因する対象事由 ・法令に違反することを被保険者が認識しながら行った行為に起因する対象事由 <p style="text-align: right;">等</p>		
総支払限度額	5億円	保険料負担者	学校法人行吉学園

※当該保険契約の内容は、令和4年度第9回理事会(令和5年3月29日)決議に基づくものである。

8 評議員の概要(令和5年7月1日現在)

[定数: 20名 任期: 4年]

氏名	就任年月日	主な現職等
多畑 寿城	平成31年4月1日	
山根 千弘	令和3年4月1日	神戸女子大学副学長・神戸女子短期大学副学長
伊吹 眞澄	平成30年6月29日	(学) 行吉学園法人本部長
廣畑 俊介	平成18年9月8日	(学) 行吉学園法人本部学園企画部部长
多田 清隆	令和5年4月1日	(学) 行吉学園法人本部財務部部长
山脇 喜子	平成30年6月29日	
羽多 悦子	平成30年6月29日	
市川 清美	平成30年6月29日	
糸井 亜弥	平成18年6月29日	神戸女子大学准教授
村田 恵子	令和5年7月1日	神戸女子大学准教授
春木 和子	平成16年7月29日	
十一 玲子	平成14年6月29日	神戸女子大学准教授
吉田 幸世	平成18年6月29日	(学) 行吉学園技術職員
行吉 則子	令和4年6月29日	(学) 行吉学園事務職員
森野 茂樹	平成18年6月29日	
今井 修平	平成18年4月1日	
三宅 茂夫	令和5年7月1日	神戸女子大学副学長・神戸女子短期大学副学長
木村 奈帆子	平成31年4月1日	幼保連携型認定こども園神戸女子大学附属高倉台幼稚園園長
浅木森 和夫	平成22年6月29日	神戸女子大学特任教授
池田 克	令和4年6月5日	神戸女子大学教育後援会会長

9 理事会・評議員会の開催状況（令和5年度）

（1）理事会

回数	開催 年月日	主な協議事項	出席状況 (定数8名)		
			出席	欠席	計
1	令和5年 5月25日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・役員等の辞任について ・令和4年度事業報告について ・令和4年度決算について 	8	0	8
2	令和5年 5月25日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・役員等の補充方針について ・神戸女子短期大学学則の一部改正について ・令和5年度賞与支給率について ・令和5年度入学試験の結果及び令和6年度入学試験等の概要について（報告） ・天神寮建替え工事の延期について（報告） ・私立学校法の改正概要について（報告） 	8	0	8
3	令和5年 6月7日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・役員等候補者選考委員会規程の制定について ・学識経験者である理事の選任について ・学識経験者である評議員の選任について ・役員等の辞任に伴う誓約書について（報告） 	8	0	8
4	令和5年 7月1日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員会が選任した理事について（報告） ・理事長の選任について ・理事長職務の代理者について ・卒業生である評議員の選任について ・理事の競業について 	8	0	8
5	令和5年 7月1日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長の報酬について ・神戸女子大学附属高倉台幼稚園大規模修繕にかかる施設整備費補助事業について ・神戸女子大学教育学部の設置構想について（報告） 	8	0	8
6	令和5年 7月20日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸女子大学教育学部の設置について ・学園長の再任について ・退任役員等への功労金、慰労金について ・日本私立大学協会評議員の選定について 	8	0	8
7	令和5年 10月25日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・退任役員への功労金について ・第2次中期目標・中期計画の策定について（報告） ・認証評価実地調査の概要について（報告） 	6	1	7
8	令和5年 12月25日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・学園収支改善計画について ・私立学校法の改正に伴う法人運営体制について 	7	0	7
9	令和6年 2月21日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・役員等の補充方針について ・第2次中期目標・中期計画について ・学園新生計画について ・私立学校法の改正に伴う法人運営体制について ・神戸女子短期大学幼児教育学科の経営改善計画について ・須磨キャンパス校地に係る土地賃貸借契約等の締結について ・役員賠償責任保険契約の締結について 	7	0	7
10	令和6年 3月28日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者である理事の選任について ・法人職員である評議員の推薦について ・理事の担当職務と就任区分の変更について（報告） 	7	0	7

回数	開催 年月日	主 な 協 議 事 項	出席状況 (定数8名)		
			出 席	欠 席	計
11	令和6年 3月28日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度補正予算について ・学園新生計画について ・第2次中期目標・中期計画について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度予算について ・私立学校法の改正に伴う法人運営体制（寄附行為変更を含む）について ・神戸女子大学教育学部設置に伴う令和7年度学則の一部改正について ・学園諸規程の一部改正等について ・理事の報酬について ・令和6年度入学試験の結果について（報告） ・教職員の異動（退職者・採用予定者）について（報告） ・須磨キャンパス校地に係る土地賃貸借契約等の締結について（報告） ・役員賠償責任保険契約の締結について（報告） 	7	0	7

(2) 評議員会

回数	開催 年月日	主 な 協 議 事 項	出席状況 (定数20名)		
			出 席	欠 席	計
1	令和5年 5月25日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸女子短期大学学則の一部改正について ・令和5年度賞与支給率について ・役員等の辞任について ・令和4年度事業報告について（報告） ・令和4年度決算について（報告） ・令和5年度入学試験の結果及び令和6年度入学試験等の概要について（報告） ・天神寮建替え工事の延期について（報告） ・私立学校法の改正概要について（報告） 	15	5	20
2	令和5年 7月1日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員である理事の選任について 	16	3	19
3	令和5年 7月1日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長の選任について（報告） ・卒業生である評議員の選任について（報告） ・神戸女子大学附属高倉台幼稚園大規模修繕にかかる施設整備費補助事業について ・神戸女子大学教育学部の設置構想について（報告） 	17	3	20
4	令和5年 7月20日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸女子大学教育学部の設置について ・学園長の再任について 	14	6	20
5	令和6年 3月28日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会から推薦された評議員の選任について ・令和5年度補正予算について ・学園新生計画について ・第2次中期目標・中期計画について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度予算について ・私立学校法の改正に伴う法人運営体制（寄附行為変更を含む）について ・神戸女子大学教育学部設置に伴う令和7年度学則の一部改正について ・学園諸規程の一部改正等について ・須磨キャンパス校地に係る土地賃貸借契約等の締結について ・役員賠償責任保険契約の締結について ・令和6年度入学試験の結果について（報告） ・理事の担当職務と就任区分の変更について（報告） ・教職員の異動（退職者・採用予定者）について（報告） 	19	0	19

10 施設等の状況（令和6年3月31日現在）

（1）土地

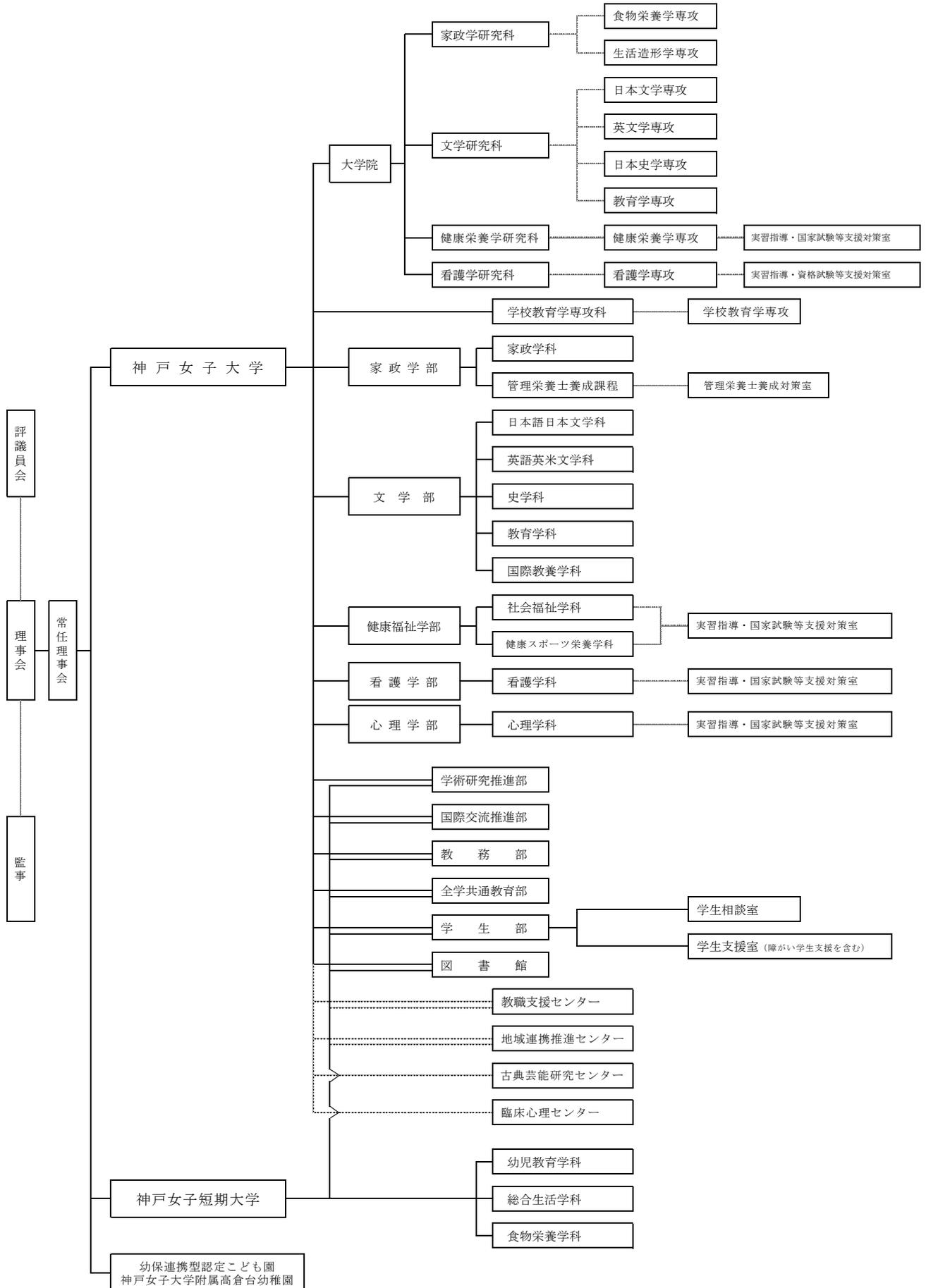
区 分	所在地	面積（㎡）	摘 要
須磨キャンパス	兵庫県神戸市須磨区	133,389.12	神戸女子大学専用
P I キャンパス	兵庫県神戸市中央区	24,524.84	神戸女子短期大学専用
三宮キャンパス	兵庫県神戸市中央区	4,931.00	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
認定こども園 (神戸女子大学附属高倉台幼稚園)	兵庫県神戸市須磨区	2,566.58	認定こども園専用
小 計		165,411.54	
寄宿舍（行幸寮・天神寮）	兵庫県神戸市須磨区	3,128.13	神戸女子大学専用
セミナーハウス	米国ハワイ州ホノルル	683.65	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
職員宿舎	兵庫県神戸市須磨区	382.34	
合 計		169,605.66	

（2）建 物

区 分		面積（㎡）	摘 要
須磨キャンパス (兵庫県神戸市須磨区)	校 舎	26,631.74	神戸女子大学専用
	体 育 館	3,460.50	
	図 書 館	6,081.45	
	実 験 室	57.60	
	守 衛 室	68.76	
	ク ラ ブ 室	986.85	
	食 堂	2,115.98	
	会 館	246.80	
	小 計	39,649.68	
P I キャンパス (兵庫県神戸市中央区)	校 舎	10,855.36	神戸女子大学専用
		23,954.49	神戸女子短期大学専用
	守 衛 室	47.93	
	体 育 館	2,334.04	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
小 計	37,191.82		
三宮キャンパス (兵庫県神戸市中央区)	校舎（体育館を含む）	7,085.46	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
認定こども園 (兵庫県神戸市須磨区)	校 舎	1,398.61	認定こども園専用
寄宿舍（行幸寮・天神寮） (兵庫県神戸市須磨区)		4,412.56	神戸女子大学専用
セミナーハウス (米国ハワイ州ホノルル)		1,074.67	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
職員宿舎 (兵庫県神戸市須磨区)		436.64	
合 計		91,249.44	

1.1 法人組織構成図（令和5年4月1日現在）

(1) 教学組織



II 事業の概要

1 主な教育・研究の概要

(1) 卒業の認定に関する方針

本学は、建学の精神に基づき、自立心に富み、対話力と創造性に優れ、人類社会の発展に貢献する女性を育成することを教育目標とする。これら自立心、対話力、創造性を十分に備える者として、知識・技能、能力及び資質が各学部・学科及び課程の定める基準に達しており、かつ所定の卒業要件を満たした者に、学位を授与する。

(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針

建学の精神に基づき、本学の教育目標及び各学部・学科及び課程が定める人材育成・教育研究上の目的を達成するための教育課程を編成し、自立心、対話力、創造性を培う教育内容及び方法を実施する。

(3) 入学者の受入れに関する方針

建学の精神に基づき、本学の教育目標及び各学部・学科及び課程の人材育成・教育研究上の目的に定める人材を育成するために、多様な能力を身に付けた学生を求める。

※各学科・課程、研究科ごとの方針は本学のホームページを参照ください。

2 令和5年度事業計画の進捗状況

中期目標並びに中期計画を達成していくために、令和5年度に取り組むべき施策の中から主な施策について取りまとめた事業計画の進捗状況は以下のとおりである。

(1) 教育に関する目標を達成するための計画

【I-1】自立心・対話力・創造性の向上に関する目標を達成するための計画

・これまで整備してきた教育目標に関する学習成果の評価指標について、引き続き運用するとともに、認証評価受審を通じて課題も確認した。具体的には、よりアセスメント・ポリシーに即して運用することや、分析結果の利活用をより進めること等である。このような課題については、次年度以降、順次改善を図る。

【I-2】教育内容に関する目標（各学科、研究科等）を達成するための計画

・各学科、各研究科等の計画は別記のとおり

【I-3】教育内容に関する目標を達成するための計画

- ・「数理・データサイエンス・AI教育ワーキンググループ」を組織し、規程の制定・改正を行った。また、令和4年度から大学・短大とで歩調を合わせた「数理データサイエンス AI教育プログラム」科目を開始した。学生の関心は高く履修者も堅調に推移している。
- ・令和6年度からオープン科目に、自分の所属する学科の専門科目以外の他学科の専門基礎科目を履修できるユニット制度を導入する。
- ・4年間をかけて修正した全学共通教育独自のカリキュラムポリシー(CP)が「履修の手引き」に記載された。引き続き、STEAM教育に根ざした基礎学力の育成方針で各科目の再編成を実施していく。

【I-4】課程に関する目標を達成するための計画

- ・教務部では、大学において前年度GPA値3.2以上の学生に対してCAPの上限緩和制度の導入を令和6年度から実施する。GPA値1.5以下の学生への履修指導の徹底を図っている。
- ・短大教務部では、大学のCAP制の上限緩和を検討する際に短大の状況GAPとCAPとの関係性を散布図で確認を行った。

【I-5】方法に関する目標を達成するための計画

- ・全学向けのFD研修会として「生成系AIが社会に与える影響及び教育における活用の展望」「学生の学びを促すシラバスの書き方」を開催した。
- ・manabaの学外研修会(オンライン)に関する「レポート機能、自動採点小テスト、小テストのドリル機能、レポート回収+プロジェクト機能、成績管理機能」等の情報提供を行った。
- ・学習相談予約システムにおいて「学生がQRコードから予約出来る」ようになり環境整備が進んだ。

【I-6】国際化に関する目標を達成するための計画

- ・オックスブリッジプログラムで英国の大学からの学生を2週間受け入れた。令和6年1月にインドネシアウダヤナ大学からの学生を受け入れた。
- ・ハワイ大学日本語パートナー及びオックスブリッジプログラムを実施した。オックスブリッジプログラムへの参加者は英語英米文学科6名、国際教養学科4名、史学科1名、教育学科3名、家政学科1名、管理栄養士養成課程1名、看護学科2名、心理学科2名だった。

(2) 研究に関する目標を達成するための計画

【II-1】研究業績に関する目標を達成するための計画

- ・学術研究推進部会を開催し神戸女子大学の研究活動を選書等の形で発信することについて提案した。KISSにて外部資金関連情報を集中的に管理し発信する案についても検討した。

【Ⅱ-2】 学生の研究に関する目標を達成するための計画

- ・英語英米文学科では、主要授業での成績優秀者顕彰を維持した。神戸女子大学英文学会誌『タバード』に1名の大学院生が論文を寄稿した。
- ・管理栄養士養成課程では、学科教員が参加する学会や研究会において学生が研究発表を行った。また、神戸女子大学栄養研究会を開催し、学部学生・大学院生及び教員を含めて研究力を高めることができた。
- ・健康スポーツ栄養学科では、学科全体で基礎演習の科目内での交流を継続し、ゼミ単位で大学院生や学年を越えた学部学生の交流の場を作った。

(3) 社会貢献に関する目標を達成するための計画

【Ⅲ-1】 社会貢献に関する目標を達成するための計画

- ・学生の自主的な活動として「神女サポート」の支援を受けて7つの団体が地域と繋がる活動を行った。
- ・女性活躍推進講座「30代・40代のための私のオーダーメイド“きれい”プラン」を開催した。参加者34名で前年度に比べて参加者が増加した。
- ・P I キャンパスでは、神戸市主催の大学連携実務担当者会議、神戸市社会福祉協議会との連携を進めた。須磨キャンパスでは、須磨区との情報交換会、須磨離宮公園と本学のキャンパスパーク連携会議、などに学生が参加した。
- ・神戸市民生委員児童委員協議会と協働して民生委員・児童委員の体験型インターンシップを開催し、40名の学生が参加した。

(4) 学生の進路に関する目標を達成するための計画

【Ⅳ-1】 支援に関する目標を達成するための計画

- ・筆記試験対策の強化としてオンデマンド方式の「S P I 対策講座」、及びオンラインによるS P I 模試を実施した。

【Ⅳ-2】 就職に関する目標を達成するための計画

- ・実習及びボランティア関連の学生支援を KISS、manaba、ZOOM を使用して効率的に運営することができた。
- ・「教職支援センターだより」を毎月作成し非常勤教員を除いた全教員に配布して情報共有をおこなった。また、月1回の教職支援センター運営委員会において教員採用対策の案内や活動報告等を行い、学科及びP I キャンパスとの情報共有に努めた。
- ・教員採用試験合格者が多かった自治体の教育委員会訪問を今年度も実施した。また、令和6年2月に「第2回神女教職フェア」を開催した。30の自治体・教育委員会、学生190名の参加があった。フェア終了後に参加自治体・教育委員会の方々と教職員との交流会を開催し、有意義な情報交換をすることができた。

【IV-3】 企業就職に関する目標を達成するための計画

- ・「S-NAVI」を活用して令和6年3月卒業生の「進路決定満足度」調査を実施した。回答者数は799名で、進路決定先に「とても満足している」「満足している」と回答した割合は、大学生で78.7%、短大生で74.4%であった。
- ・令和6年2月に学内企業研究会を開催した。日本航空(株)、加藤産業(株)、日本生命(相)、シダックス(株)、山崎製パン(株)、住友不動産販売(株)など約200社が参加した。

【IV-4】 公務員就職に関する目標を達成するための計画

- ・公務員ガイダンス、自治体別ガイダンス、合格を目指す戦略セミナー、2次試験対策講座説明会などを開催した。

【IV-5】 Uターン就職に関する目標を達成するための計画

- ・令和5年7月のUターンガイダンスを開催し6名が参加した。令和6年2月に出身者が多い8地域の個別相談会を開催し15名が参加した。

(5) 学生支援に関する目標を達成するための計画

【V-1】 学生満足度・帰属意識に関する目標を達成するための計画

- ・教職員を対象とする学生支援研修会を2回開催した。
- ・休学している学生への支援として学内関係部門の情報共有に加え、外部専門機関(アソシア、ハローワーク、(社)すいせい、JOTサポート神戸など)との連携強化を図った。
- ・令和5年4月に須磨・PI各キャンパスで学友会主催の新入生歓迎行事を行った。
- ・学生支援委員会が中心となり上級生と新入生との交流の機会をつくった。新入生は上級生から履修登録、資格取得、実習に関する説明等を受けるなどして交流を深めた。
- ・須磨キャンパスでは、令和5年4月「花咲く春の神女祭り」を開催した。PIキャンパスでは「新入生歓迎週間」を設けクラブ紹介などを行うとともに、4年ぶりに開催したスポーツ交流会で大学・短大・学科を超えた交流を深めることができた。
- ・須磨キャンパスでは、バレーボール部が近隣の複数の高校との合同練習会を定期的に行った。また、パン研究会では教職員の指導の下で焼いたパンをオープンキャンパスで提供した。PIキャンパスでは、全国大会に参加するダンス同好会の公開リハーサルを行い教職員、在学学生で激励した。
- ・令和6年4月に開設される学生支援センターの通称が「Shinjo・Support・Station(SSS) (シンジョ サポート ステーション)」に決まった。

【V-2】 経済的支援に関する目標を達成するための計画

- ・学生支援委員会は、欠席や課題未提出の学生への早期支援と情報共有を強化した。新たに休学した学生に対し、個別に専門機関との連携を図り復学に向けて早期支援を行った。

- ・学生への奨学金紹介数は目標の 50 件を上回る 108 件だった。

(6) 施設・設備に関する目標を達成するための計画

【VI-1】施設・設備に関する目標を達成するための計画

- ・須磨キャンパスでは、食堂 2 階の改修工事を行った。学生からは非常に好評で開放時間を延長したこともあり、利用者数は大幅に増加した。
- ・須磨キャンパスでは、前年度に引き続いて室内環境学授業と施設課との合同で学内の休息スペースの改善に取り組んだ。学生からの立案を協議しながら、数ヶ所で実証実験を行い、アンケート集計を実施した。本取組は大学認証評価でも高評価であった。
- ・P I キャンパスでは、A 館 607・608 講義室に EHP(電気式ヒートポンプ)の空調機を設置した。個別運転で使用が可能になり学習環境改善及び省エネに繋がった。また、B 館食堂 2 階マーベルの改修工事を行い学生の環境改善整備を図った。

(7) 入試広報に関する目標を達成するための計画

【VII-1】入試広報に関する目標を達成するための計画

- ・卒業生や有名企業に内定した 4 回生のインタビューを纏めたキャリアページ「Career Palette」をHPに立ち上げた。現在 67 名の情報をアップしている。
- ・高校教員を対象とした「高校教員対象説明会」の実施回数を増やし、運営方法を見直したことで、参加実績が増加した。在学生在が授業の様子や大学生活、課外活動などについて「自分の言葉」で説明する形式を取り入れたことで、教え子達の入学後の成長を高校教員にみていただくことが出来た。参加した高校教員のアンケート結果も高評価であった。

(8) 幼稚園に関する目標を達成するための計画

【VIII-1】幼稚園に関する目標を達成するための計画

- ・保育日数 275 日の内 256 日で栄養価の高い給食を提供した。アレルギー対応をしっかりと行うとともに、「日本一周献立」など園児達が楽しんで食べられる工夫を施した。
- ・預かり保育は 2 号・3 号児 20 名と 1 号児のうちの新 2 号 35 名が利用し、1 日 35~40 名を受け入れた。年間の利用者数は延べ 4,326 名だった。
- ・園内研修として、毎月 1 回「危機管理研修」、年数回「絵画や音楽、特別支援などの保育内容の研修」を実施した。

(9) 組織に関する目標を達成するための計画

【IX-1】定員充足に関する目標を達成するための計画

- ・社会情勢及び受験生の動向の把握、他大学の改組等に関する情報の収集を継続して行った。

【IX-2】 大学・短大一体的運用に関する目標を達成するための計画

- ・各種委員会の大短一体化運用を進めた。教務課では、保管文書の管理について一覧を統一し内容の確認と更新を行った。教職支援センターでは、課長1名体制への移行により、学生支援・指導についてキャンパス間の連携強化を図った。図書館では、各キャンパスにおける設置学科の特性を考慮の上で業務マニュアルの統一を進めた。

(10) 財政に関する目標を達成するための計画

【X-1】 健全財政に関する目標を達成するための計画

- ・財政状況改善を進めるために「学園収支改善計画」を全学的な取組みとしてスタートさせた。
- ・令和5年度予算において経常費削減の数値目標を示し支出抑制を図った。一方、学生募集強化の観点から、入試広報業務の予算は別途の取扱いとした。また、令和6年度における学生募集状況が前年度に比して悪化傾向にあることから、令和6年度においても経常費削減の数値目標を更に見直し継続していく予定である。

(別記)

I-2 教育内容に関する目標（各学科、研究科等）を達成するための計画

神戸女子大学

文学部

日本語日本文学科

- ・2年次のカリキュラムとして設定した「日本語表現Ⅰ」「日本語表現Ⅱ」について履修状況や成績等から効果を確認した。
- ・芸能鑑賞として、令和5年6月に文楽、12月に能を鑑賞した。ゼミ単位では令和5年11月に宇治での文学散歩を行った。
- ・令和5年11月、全学年向けに「就職内定者に話を聞く会」をZOOMと対面のハイブリット形式で実施した。質問の受付・回答をmanabaで行った。

英語英米文学科

- ・Advanced TOEIC Training、English for Information Technologyなどの新設科目により3、4回生の英語力の向上を図った。
- ・JALとの産学連携クラスを引き続き開講し、今年度も複数のエアライン業界から就職内定を受けた。
- ・ハワイ留学生の8割が帰国後に受けたTOEICで100点以上の成績上昇が見られた。
- ・異学年と学びあう科目として、3回生のスピーチコンテストの授業に1回生を参加させた。また、前年度よりスピーチコンテストの審査員として上回生に加わってもらい学年間の交流を図った。

国際教養学科

- ・ネイティブの英語教師がスピーキングやリスニングを教えると共に、文法や発音よりも英語で自分の意見や考えを伝えることを指導した。
- ・朝鮮語について、2回生が履修する「アジアの言語Ⅳ」ではハングル能力検定試験を全員が受験した。韓国の美林(ミリム)女子情報科学高校とオンライン交流を6回、蔚山(ウルサン)大学とオンライン合同授業を4回実施した。
- ・令和6年1月、卒業論文のポスタープレゼンテーションを開催した。3回生も参加し質疑応答を行った。

史学科

- ・1回生の「入門演習」で学外実習および報告会を実施した。また、民俗学・考古学などの科目を中心に史跡・文化施設・年中行事などの「現場」へ行くよう学生に対して積極的に働きかけた。
- ・3年ぶりに福井方面への夏期研修旅行を実施した。
- ・3回生のゼミの時間にキャリアサポートセンター職員による学科独自の進路ガイダンスを実施した。
- ・高校公民免許の取得が文科省より認可された。

教育学科

- ・各コースの現行カリキュラムマップを見直して「理想のカリキュラムマップ」の作成を行った。また、教育学科の学部化における新カリキュラムマップの試案を作成した。
- ・学科リーフレットを学生の成長や就職実績等のわかるものに改訂し、オープンキャンパスでの配布、指定校への送付を行った。兵庫県を中心に 106 校の高校を訪問して教員採用実績や教育学科の学部化を伝えた。
- ・教育学部開設に向けて、インクルーシブ教育システムをテーマとした教育シンポジウムを開催した。内外の教育者・研究者・行政担当者の参加があり、地域の教育に貢献する教育学部の姿を示すことにつながった。
- ・模擬授業教室にタブレット 40 台と周辺機器を導入した。タブレット端末を活用して、小学校で導入されているデジタル教科書や授業支援ツールの活用、プログラミング教育の演習を実施した。教職に就いた時の ICT 活用のイメージを具体化することができた。
- ・海外研修として、夏期ハワイ大学英語研修に 5 名、春期ハワイ大学英語研修に 4 名、チェンマイ大学サマースクールに 1 名が参加した。国内英語研修として、オックスブリッジ英語サマースクールに 3 名が参加した。

家政学部

家政学科

- ・専門学科全科目のシラバスについて、到達目標・授業計画・成績評価・準備学修などの項目を確認した。
- ・1 回生と 3 回生を中心にした「異学年による学びあいプログラム」で、「フィールドワーク」と「家政学を学ぶ」を実施した。1 回生は先輩学生から学生生活の指導を受けることが出来た。
- ・「観賞用バラの残留農薬の除去と活用について」が神戸市公園緑化協会の助成金に採択され、「神戸市の緑の普及・啓発に寄与する調査・研究論文」優秀賞を受賞した。「Rose & Honey レシピコンテスト（バラ粉末、ローズ離宮ハニーを利用したレシピ開発コンペの開催）」「神女生による歴代コンテストのエントリーレシピの商品化」が行吉学園学生課外活動助成金神女サポートに採択された。また、神戸市立須磨離宮公園のバラや離宮ハニーを使用したレシピ開発コンペを企画・開催した。
- ・課題解決型授業の新規連携先は次のとおり。
 - 神戸市立相楽園と連携した「ひかりのさんぽ路」での切り絵灯り制作と運営スタッフの提供
 - NPO 法人神戸茅葺きネットワークと連携した神戸市北区の茅葺き民家保全・活用の活動
 - ボーイスカウト西宮第 11 団と連携した子どもの地域活動支援

管理栄養士養成課程

- ・1～3 回生の学生が卒業論文に関心を持つように卒業論文要旨集を作成し、ZOOM や manaba での閲覧を促した。卒業論文発表ポスターへのアクセスは 5,746 件、卒業論文発表会ディスカッション動画へのアクセスは 3,304 件であった。
- ・ハワイのクアキニ病院実習に 2 名が参加した。
- ・新カリキュラムの「管理栄養士論」で外部講師 2 名を招聘して講義を実施した。また、学科教

員の講義を通して、1回生に管理栄養士の社会的役割を意識付けることができた。

健康福祉学部

社会福祉学科

- ・卒業生4名を招いて「社会福祉研究交流会」を開催した。卒業生から医療・介護・福祉についての実践的な説明があり、在学生在が現場の理解を深める機会となった。
- ・1回生「基礎演習Ⅰ」では、先輩とレクリエーションを通じた交流の時間をとった。ボランティア活動の話などを聞くなど積極的な交流ができた。2回生「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」では3回生の実習報告を聞く機会を設けた。また、4回生の「卒業論文発表会」について、3回生は自分のゼミの発表会に必ず参加することとし、1・2回生も関心のあるゼミの卒業論文発表会を積極的に参加するよう働きかけた。
- ・資格取得を希望する学生に対して指導を継続的に行い、実習や国家試験勉強などへのモチベーションの維持・向上を図った。資格取得に関して迷ったり、意欲を失いかけている学生の情報を学科会議で共有し、クラス担任・ゼミ担当・実習担当教員が連携して意思確認・意欲喚起等の指導を行った。

健康スポーツ栄養学科

- ・「体育原理」「スポーツ心理学」「健康スポーツ指導法Ⅲ（陸上）」で令和5年日本選手権400mに出場した大崎健太氏による特別実技を行った。
- ・高校への出前授業を下表の通り実施した。

路南高校 4回	比叡山高校サッカー部 1回	東洋大姫路高校野球部 1回
履正社高校女子野球部 1回	夢ナビライブ 2回	須磨翔風高校 2回
三田西陵高校 1回	長田高校 1回	神戸高塚高校 1回
神戸市立科学技術高校 2回	加古川北高校・小野工業高校 1回	

- ・令和2年度より不開講となっていた海外研修「国際健康福祉プログラムⅠ（バリ）」の開講を再開した。地域学習はこれまで通り、神戸市、各種スポーツ団体と連携して令和5年度52名の受講生全員が9回以上のボランティア活動ができるようにプログラムを組んだ。

看護学部

看護学科

- ・教育評価アンケートをより主体的な学習に活用しやすいようループリック形式に変更することを目指し、FD研修会でループリック評価の学習と、DPについてのループリック評価作成のグループワークを実施し、今後1年間での評価基準の作成工程を明示・共有した。
- ・「看護実践開発支援室」を開設した。卒業生は無料で看護実践や看護研究に関する支援が受けられるため、ホームページやチラシを作成して周知している。
- ・「神戸市こども家庭局が主催する研修への協力」「神戸医療福祉センターにこここハウス、兵庫県立こども病院の倫理委員」「神戸市立医療センター中央市民病院の小児科病棟での事例検討

会やコンサルテーションの実施」など実習施設への研修協力を行った。

- ・臨地実習指導者研修会をハイブリット方式で実施した。参加者は教員 31 名、臨地実習指導者 48 名で、14 施設からの参加があった。
- ・令和 5 年 6 月、卒業生が 3 回生に対して就職活動等の体験談を話すガイダンスを行った。令和 5 年 12 月、4 回生の就職内定者の体験談を発表するガイダンスに 3 回生 85 名が参加した。

心理学部

心理学科

- ・専門科目および「情報 A・C」「教養演習 I・II」といった全学共通教養科目において、78.6%(28 科目中 22 科目)の授業で必携化されたパソコンが利用された。特に「教養演習 I・II」における課題解決学習を通じて高度なパソコンの活用能力を養成することができた。また、必携化により情報を扱う技能や態度に関して情報処理士ガイドラインのルーブリックなどを参照した自己評価を後期終了時に行い、その効果を検証した。
- ・「地域学習」「教養演習 I」「心理学基礎演習」などの諸活動を含め、学生自身が学生生活の振り返りとその後の目標設定ができるよう、manaba を用いて学生自身のポートフォリオの作成を行った。
- ・臨床心理センターでは、地域市民向けの無料相談会の開催や近隣医療機関からの紹介患者への丁寧な対応等により予約件数や来談者数が増加した。また、オープンキャンパス当日に一般市民向けの講演会「社会に貢献する公認心理師」を開催することで、来校した高校生にも聴講してもらい心の健康教育について情報発信することができた。

神戸女子大学大学院

文学研究科

- ・大学院生が学会に参加する際の旅費を受け取ることができる制度を利用して、国際シンポジウムや学会部会に積極的に参加し他大学の学生・大学院生と交流を深めた。

家政学研究科

- ・大学院入試の前に、各専攻で学部学生への進学説明会を開催した。オープンキャンパスで大学院コーナーを設け、パネル展示などの広報活動を行った。

健康栄養学研究科

- ・前年度から学部 1 回生の「基礎演習」において先輩大学院生が研究の魅力を伝える時間を作った。学部 1 回生から「先輩の発表を拝聴して感動した」「先輩のようになりたい」というコメントがあり、大学院の魅力を伝える機会となった。

看護学研究科

- ・「看護研究方法論 I (1 年前期)」「看護研究方法論 II (1 年後期)」について、引き続き授業改革に取り組んだ。
- ・令和 5 年 12 月、4 回生の「課題探究発表会」後に、各ゼミ単位で大学院生あるいは修了生が

修士論文や進学に関することについて話をする時間を設けた。

神戸女子短期大学

総合生活学科

- ・服飾デザイン、フードデザイン、住居デザインなど7つの分野から異なる複数分野を履修することで、生活全般に関わる諸問題を総合的に学ぶという本学科の特徴をカリキュラムに反映するために、科目名、科目群及び科目数、学修成果についての点検・見直しを行った。
- ・「ボランティアの実践」を1・2年生6名が受講した。地域連携推進事務室からの紹介や居住地域から募集のあったボランティアに積極的に参加した。
- ・学生の編入希望に沿った指導を行った。専願の学園内編入の指導だけではなく、就活と編入の併願学生には一般編入受験の指導を実施した。

食物栄養学科

- ・卒業生対象の第26回管理栄養士国家試験対策講座をオンラインで開催した。学園祭にて、食栄ホームカミングデーを実施し、54期生7名・68期生3名・69期生1名・71期生7名・72期生4名と多数の卒業生の参加があり交流を深めた。
- ・近隣の保育園児を招いて学生が調理指導を行う「栄養学実習Ⅰ」のキッズキッチンを継続して実施した。みのり保育園園児21名、神女中山手保育園園児21名が来学し、食物栄養学科2回生の指導のもとで調理実習を行った。
- ・「栄養士へのアプローチ」において、保育園見学でのフィールドワークを取り入れた。さらに「食文化栄養学セミナー『食』と神戸」にて、「神戸発祥の食・食文化のお店探訪」「神戸の古民家カフェ探訪」を行い、神戸ゆかりの食文化体験を目的としたフィールドワークを実施した。

幼児教育学科

- ・高校への「進路ガイダンス」や「出前授業」を積極的に実施した。県立三木北高等学校1年生との交流では、高校生が実際に在學生と一緒に授業を受ける体験ができるように工夫した。また、令和6年度より須磨ノ浦高等学校へ定期的に「出前授業」を実施することが決まった。
- ・社会経験があり保育者を目指す前向きな姿勢の職業訓練生と学生との間で相互に刺激をする良い関係ができた。
- ・卒業生支援として、卒業生に向けた公式LINEアカウントを開設した。再就職や新たな資格に関する情報、卒業生向けのイベント情報等を発信した。
- ・「女性活躍推進講座」イベントに託児ボランティアとして参加した。また、夏季休業中に保育園等にボランティア経験をする学生もいた。

3 特記事項

(1) 卒業生・修了者数の状況

令和5年度（9月卒業を含む）に所定の課程を修了し、卒業・修了した学生は以下のとおりである。
（単位：名）

区 分	学部・学科等		前 期	後 期	計
神戸女子大学大学院	家政学研究科 (博士課程)	食物栄養学専攻	7	0	7
		生活造形学専攻	0	0	0
		(小計)	7	0	7
	文学研究科 (博士課程)	日本文学専攻	1	0	1
		英文学専攻	0	0	0
		日本史学専攻	1	0	1
		教育学専攻	0	0	0
		(小計)	2	0	2
	健康栄養学研究科 (修士課程)	健康栄養学専攻	8	—	8
	看護学研究科 (博士課程)	看護学専攻	3	0	3
	(合計)		20	0	20
神戸女子大学	文学部	日本語日本文学科	45		
		英語英米文学科	52		
		国際教養学科	40		
		史学科	48		
		教育学科	151		
		(小計)	336		
	健康福祉学部	社会福祉学科	65		
		健康スポーツ栄養学科	66		
		(小計)	131		
	家政学部	家政学科	88		
		管理栄養士養成課程	128		
		(小計)	216		
	看護学部	看護学科	84		
	(合計)		767		
神戸女子短期大学	総合生活学科	60			
	食物栄養学科	40			
	幼児教育学科	39			
	(合計)	139			

(2) 国家試験の受験・合格状況

令和5年度における国家試験（9月卒業を含む）の受験・合格状況は、以下のとおりである。

試験区分	年 度	受験者	合格者	合格率	全国合格率	全国新卒合格率
管 理 栄 養 士	令和5	123名	104名	84.6%	(49.3%)	(80.4%)
	令和4	122名	105名	86.1%	(56.6%)	(87.2%)
	令和3	158名	149名	94.3%	(65.1%)	(92.9%)
社 会 福 祉 士	令和5	55名	46名	83.6%	(58.1%)	(76.8%)
	令和4	66名	55名	83.3%	(44.2%)	(65.0%)
	令和3	55名	44名	80.0%	(31.1%)	(52.4%)
精 神 保 健 福 祉 士	令和5	5名	5名	100.0%	(70.4%)	(82.5%)
	令和4	7名	7名	100.0%	(71.1%)	(78.8%)
	令和3	6名	6名	100.0%	(65.6%)	(73.3%)
介 護 福 祉 士	令和5	17名	17名	100.0%	(82.8%)	(71.5%)
	令和4	15名	15名	100.0%	(84.3%)	(81.7%)
	令和3	18名	18名	100.0%	(72.3%)	(72.3%)
看 護 師	令和5	84名	83名	98.8%	(87.8%)	(93.2%)
	令和4	88名	88名	100.0%	(90.8%)	(95.5%)
	令和3	80名	79名	98.8%	(91.3%)	(96.5%)
保 健 師	令和5	20名	20名	100.0%	(95.7%)	(97.7%)
	令和4	20名	19名	95.0%	(93.7%)	(96.8%)
	令和3	20名	16名	80.0%	(89.3%)	(93.0%)
助 産 師	令和5	5名	5名	100.0%	(98.8%)	(99.3%)
	令和4	3名	2名	66.7%	(95.6%)	(95.9%)
	令和3	5名	5名	100.0%	(99.4%)	(99.7%)

(3) 学習支援センター等

【学習支援センター】

(参加延人数)

須磨キャンパス			P I キャンパス		
基礎科目 ミニ講座	理 科	6回 (5名)	基礎科目 ミニ講座 (Zoom)	理 科	6回 (0名)
	数 学	6回 (4名)		数 学	6回 (0名)
	国 語	6回 (51名)		国 語	6回 (1名)
	英 語	6回 (10名)		英 語	6回 (0名)
基礎科目 個別相談	理 科	週2回 (50名)	基礎科目 個別相談 (Zoom)	理 科	週2回 (0名)
	数 学	週2回 (182名)		数 学	週2回 (0名)
	国 語	週2回 (85名)		国 語	週2回 (0名)
	英 語	週1回 (37名)		英 語	週1回 (9名)

【コモンズ・サポーター主催イベント】

6月28日 シンジョ頭脳クイーン決定戦 開催 12月5日 シンジョ頭脳クイーン決定戦 開催

(4) 国際交流事業

新型コロナウイルス感染症に伴う渡航・入国制限が解除されたため、オンライン・プログラムを縮小し、より多くの海外研修プログラムを実施するとともに、オックスブリッジ英語サマースクールを再開する等、対面での国際交流の機会を増やしていった。また、学術的共同研究の取り組みを推薦する目的でバーレーン王国のRoyal University for WomenとポーランドのAdam Mickiewicz Universityとの協定を締結した。また、カナダのDouglas Collegeとの協定締結が常任理事会で承認され、多文化共生をテーマにした留学プログラムを実施することが決まった。

① 海外研修プログラム等の実施状況

(単位:名)

派遣先大学・機関等	プログラム名	派遣学生数		
		大学	短大	計
ハワイ大学	セメスタープログラム (前期)	5	-	5
	セメスタープログラム (後期)	6	-	6
	英語研修 (夏期)	7	2	9
	英語研修 (春期)	8	0	8
フライブルク大学	ドイツ語研修	2	-	2
高麗大学	韓国語研修	5	-	5
カリフォルニア州立ポリテクニク大学ポモナ校	英語学習&サーヴィス・ラーニング・プログラム	4	-	4
	短期プログラム	3	-	3
チェンマイ大学	英語・タイ文化学習サーヴィス・ラーニング・プログラム	1	-	1
	サマープログラム	1	-	1
クアキニ・ヘルスシステム	病院実習	2	-	2
ウダヤナ大学	国際健康福祉プログラム I	7	-	7
合 計		51	2	53

オックスブリッジ英語サマースクール：オックスブリッジ学生2名受け入れ、本学学生20名参加

② 外部奨学金の採択状況

奨学金名称	プログラム名	金額 (月額)	支給月数	人数
JASSO 海外留学支援制度 (協定派遣)	神戸女子大学英語英米文学科ハワイ大学セメスター留学プログラム	80,000	3 カ月	9 名
HUMAP 留学生交流推進制度 (受入れ)	静宜大学交換留学 (受入れ)	80,000	11 カ月	1 名
文部科学省・国費外国人留学生 (日本語・日本文化研修留学生) (大学推薦)		120,000	12 カ月	1 名

③ 海外からの留学生・研究者受け入れ

【留学生】

日本語日本文学科：ウダヤナ大学 1 名 [国費外国人留学生（日本語・日本文化研修留学生）]

国際教養学科：静宜大学 2 名（うち 1 名、7 月帰国）[交換留学生]

【短期研修生】健康福祉学部：ウダヤナ大学医学部 3 名

【ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 HORN 研究者交流事業】

バングラデシュ農業大学水産学部水産学科 教授 1 名 /健康スポーツ栄養学科

【日本・アジア青少年サイエンス交流事業・さくらサイエンスプラン】

ウダヤナ大学医学部 講師 1 名、医学部学生 3 名 / 社会福祉学科

【科学研究費助成事業】

ウダヤナ大学医学部 講師 1 名（客員研究員）、教授 1 名、准教授 1 名 / 社会福祉学科

【客員研究員】チェンマイ大学公共政策研究科 准教授 1 名 / 国際教養学科

④ 国際教養学科・グローバル・ローカル講演会

(単位:名)

タイトル	講演者	参加学生数
「Community Service and Outreach」	カリフォルニア州立ポリテクニク大学ポモナ校 政治学部教授	100

⑤ 国際グローバル・セミナー

(単位:名)

タイトル	参加学生数
「難民支援のリアル～ウクライナ危機を中心に」	63

⑥ オンライン・プログラム実施状況

(単位:名)

プログラム名	実施回数	参加者学生数 (延べ)		
		大学	短大	合計
看護学部・チェンマイ大学看護学部との学生交流	1	5	0	5
ハワイ大学日本語カンパセーション・パートナー	10	41	0	41
ケント大学オンライン・おしゃべりカフェ	2	10	0	10
合計	6	17	0	17

(5) 図書館

①洋雑誌（冊子・電子）購読およびデータベース契約に関する検討会の開催

昨年度に引き続き雑誌価高騰と予算減額に対処するため、令和5年度は教員を中心としたワーキンググループを発足し、契約内容の再検討を行った。

②須磨図書館ボランティア活動の活性化

ボランティア学生企画による多彩な季節展示、オープンキャンパスの実施協力等、昨年度までの活動に加え、広報活動として今年度開設した須磨図書館公式 X（旧 Twitter）への投稿、さらには、ビブリオ部と共同し「ビブリオバトル大会」を開催するなど、ボランティア活動の活性化を図った。

ア 図書館利用サービス

【須磨キャンパス】

開館時間（平日 19:30 まで・土曜日 10:00～17:00）

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開館日数	269日	264日	268日
入館者数	29,581名	54,735名	40,993名
貸出冊数	10,778冊	15,178冊	12,446冊
貸出冊数（1名あたり）	4.0冊	6.3冊	5.8冊
AVコーナー利用者数	56名	218名	176名

【P I キャンパス】

開館時間（平日 21:00 まで・土曜日 10:00～17:00）

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開館日数	273日	265日	273日
入館者数	10,112名	12,345名	17,159名
貸出冊数	7,742冊	6,549冊	6,764冊
貸出冊数（1名あたり）	4.3冊	2.3冊	4.6冊
AVコーナー利用者数	10名	6名	3名

注) 令和5年度より両館とも新型コロナウイルス感染症拡大防止対策制限を解除し、通常開館を再開

イ 資料受入状況

【須磨キャンパス】

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
蔵書冊数	292,403冊	293,338冊	294,348冊
図書購入冊数	1,666冊	1,290冊	983冊
図書年間受入冊数	3,837冊	1,676冊	1,617冊
視聴覚資料年間受入数	38件（36タイトル）	57件（41タイトル）	22件（16タイトル）
雑誌所蔵種数	2,922種	2,922種	2,924種
雑誌年間受入種数	266種	266種	248種

注) 除籍図書：令和3年度（1,367冊）、令和4年度（741冊）、令和5年度（607冊）

注) 蔵書、図書購入、図書年間受入冊数：雑誌・視聴覚資料を除く

【ポートアイランドキャンパス】

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	蔵 書 冊 数	短大 122,895 冊	大学 17,657 冊	短大 123,944 冊	大学 18,627 冊	短大 125,837 冊
図 書 購 入 冊 数	短大 1,570 冊	大学 1,568 冊	短大 1,698 冊	大学 996 冊	短大 1,218 冊	大学 763 冊
図 書 年 間 受 入 冊 数	短大 1,588 冊	大学 1,583 冊	短大 1,734 冊	大学 954 冊	短大 1,303 冊	大学 763 冊
視 聴 覚 資 料 年 間 受 入 数	短大 35 件 (21 タイトル)	大学 24 件 (19 タイトル)	短大 42 件 (26 タイトル)	大学 74 件 (23 タイトル)	短大 31 件 (13 タイトル)	大学 22 件 (21 タイトル)
	短大 379 種	大学 81 種	短大 380 種	大学 71 種	短大 686 種	大学 144 種
雑 誌 所 蔵 種 数	短大 185 種	大学 111 種	短大 186 種	大学 101 種	短大 163 種	大学 102 種
雑 誌 年 間 受 入 種 数	短大 185 種	大学 111 種	短大 186 種	大学 101 種	短大 163 種	大学 102 種

注) 除籍図書：令和 3 年度 (802 冊)、令和 4 年度 (762 冊)、令和 5 年度 (735 冊)

注) 令和 5 年度～蔵書、図書購入、図書年間受入冊数：雑誌・視聴覚資料を除く

ウ 地域開放利用状況

【須磨キャンパス】

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利 用 者 数	0 名	3 名	66 名
貸 出 冊 数	0 冊	5 冊	125 冊

注) 図書館利用サービスの入館者数、貸出冊数から抽出して再掲

注) 令和 4 年度後期より利用再開

(6) 研究

① 研究活動の状況

各教員の研究業績等については、学校教育法施行規則の規定に基づきホームページ上で公開している。また、研究を支援するために外部資金獲得に向けた各種学会、協会及び民間企業等の研究助成に関する情報収集を行い、関係学部・学科等に提供することにより研究活動の促進に努めている。

② 科学研究費助成事業の採択

大学においては、応募件数 47 件、新規採択件数 15 件、新規採択率は 31.9%であった。継続分と併せた採択件数は 53 件 (35,500 千円) であった。今後も応募件数や採択件数の増加を目指し、学内個別相談会の開催、採択者の応募書類の公開など支援の一層の強化を図る。

短期大学においては、基盤研究(C)4 件を申請し、そのうち新規採択は 1 件であった。今後も申請件数の増加を図る取り組みを展開する。

【科学研究費助成事業採択状況（大学）】

（単位：千円）

研究種目	令和4年度				令和5年度			
	件数	直接経費	間接経費	合計	件数	直接経費	間接経費	合計
基盤研究（A）	1	8,068	2,387	10,455	0	0	0	0
基盤研究（B）	1	7,356	2,206	9,562	2	8,200	2,460	10,660
基盤研究（C）	41	21,300	6,390	27,690	40	23,600	7,080	30,680
挑戦的萌芽研究	0	0	0	0	0	0	0	0
若手研究	8	3,000	900	3,900	8	1,400	420	1,820
研究活動スタート支援	2	1,900	570	2,470	3	2,300	690	2,990
合計	53	41,624	12,453	54,077	53	35,500	10,650	46,150

③ 産学連携活動の取り組み

企業等との共同研究や受託研究及び企業等との連携による商品開発等を積極的に推進した。

【企業等との共同研究や受託研究等の状況（大学）】

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
共同研究・受託研究（継続含む）	7件	10件	10件
技術相談受け入れ件数	0件	0件	0件
特許の申請状況	0件	0件	0件

【商品開発等（大学）】

	企業名	内 容
1	生活協同組合コープこうべ	運動機能向上を図る資料の作成
2	株式会社ユーハイム	バームクーヘン等の菓子レシピの開発
3	フジッコ株式会社	豆アイスの商品開発
4	株式会社ストークス	3者で地産地消とスポーツ栄養学に基づいた商品開発
5	株式会社オイシス	3者で地産地消とスポーツ栄養学に基づいた商品開発

④ その他外部資金の採択状況

【大学】

	交付元	研究課題名
1	令和5年度 研究助成 (公益財団法人医食同源生薬研究財団)	高血圧予防における昆布出し殻の活用法の検討
2	令和5年度 学術研究助成 (公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団)	ライサワー種の初種作製と継代時の微生物菌叢変化のメタゲノム解析およびその発酵に影響する因子の解明
3	令和5年度 調査・研究助成 (公益財団法人大阪ガスグループ福祉財団)	高齢者の福祉および健康づくりに関する調査・研究 「高齢者の健康の維持・増進」
4	令和5年度 研究助成 (公益財団法人日本教育公務員弘済会)	小・中学校と連携した高等学校における通級指導の実践研究
5	令和5年度 研究助成 (神戸市/大学発アーバンイノベーション神戸)	“神戸最後の前方後円墳”の高精度3Dデジタル・アーカイブの構築とその戦略的活用
6	令和5年度 調査・研究助成 (大麦食品推進協議会)	配合比率30%のもち麦ご飯の摂取が便通および精神的健康、睡眠、生活の質に及ぼす影響

【短大】

	交付元	研究課題名
	該当なし	

(7) 古典芸能研究センター

① 所蔵資料公開事業

人間文化研究機構 国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク」事業への協力(継続)

センターから1,264冊分(365種類)の画像を提供するとともに、国文学研究資料館に143冊(73種類)の未撮影資料を貸し出し、資料館にて撮影。画像の配付を受けた。

② 刊行物

『神戸女子大学古典芸能研究センター紀要』17号

図録『志水文庫の大津絵と大原神社の絵馬「踊り子図」』

神戸女子大学古典芸能研究センター研究資料集4『塚本家所蔵能・狂言扇下絵集成』

③ 展示（於古典芸能研究センター展示室）

- ・「曾根崎心中」と近松 ～国立文楽劇場4月文楽公演によせて～

令和5年4月12日～5月31日

- ・写真展「郷土の風流踊」令和5年7月3日～9月1日
- ・「念仏往生 ―歓喜と報謝の表現―」令和5年9月25日～11月30日
- ・「芸能と遊び ～暮らしの中の楽しみ～」令和6年2月5日～3月29日
- ・今月の資料...12回（ホームページでも公開）

④ 特別講座(神戸女子大学・神戸女子短期大学オープンカレッジ秋期講座参加)

「念仏と芸能」

令和5年9月25日、10月2日、23日、30日、11月13日、27日（月曜日・全6回）

⑤ 特別企画

- ・古典芸能研究センターお勧めの古典芸能鑑賞 能楽

令和5年9月10日 於上田観正会能楽堂

「観正会定式能」令和5年9月10日公演

参加者：5名（学生1名、教職員2名、センター関係者2名）

令和5年12月9日 於上田観正会能楽堂

「観正会定式能」令和5年12月9日公演

参加者：32名

（学生21名、教職員等5名、オープンカレッジ受講生5名、センター関係者1名）

- ・神戸女子大学古典芸能研究センター特別展示

写真展「郷土の風流 風流踊」

会場：神戸市立須磨離宮公園内 和室（※CP連携に基づく）

会期：令和5年12月9日（土）～12月24日（日）【会期14日】

入場者数：309名 ※神戸新聞掲載

⑥ 協力・共催

- ・八王子市夢美術館 特別展「めぐりあう大津絵 ―笠間日動美術館・小糸源太郎コレクションと神戸女子大学古典芸能研究センター・志水文庫の大津絵」への特別協力（※次項参照）

⑦ 資料出品・提供、その他

- ・八王子市夢美術館 特別展「めぐりあう大津絵 ―笠間日動美術館・小糸源太郎コレクションと神戸女子大学古典芸能研究センター・志水文庫の大津絵」（令和5年9月15日～11月5日）に、志水文庫の大津絵34点（25種類）を出品し、画像の使用も許可した。
- ・和歌山県立博物館「生誕850年記念特別展：紀州 明恵上人伝」（令和5年10月14日～11月26日）に、伊藤正義文庫『金春謡装束并造物付』（五・2・4・132）を出品し、画像の使用も許可した。

- ・サンテレビ「キャッチ+」(令和5年10月3日放映) および YouTube「ひょうご形の無い文化財」に喜多文庫民俗芸能資料「阿万の風流大踊小躍」より画像2点の使用を許可した。
- ・伊平屋村教育委員会主催「馬とむすんだちむぐる」(令和5年年12月1日～12月2日)に、沖縄祭祀資料「伊平屋島田名ウンジャミ 昭和59年8月10日～8月24日」より画像5点の使用を許可した。
- ・フジテレビ「呼び出し先生タナカ」(令和5年3月4日放映予定、高学歴芸人SP)の社会科「日本の三大古典芸能」に関する問題の回答・解説の作成に協力した。

(8) 学生

国が実施する貸与奨学金及び修学支援制度(給付奨学金・授業料等減免)の諸手続きを行った。

また、学業及び学生生活で優秀な成果を上げ、人物として優れた学生を応援する「神女優秀者応援奨学金」や、経済的理由により学業継続が困難になった学生を支援する「神女経済支援奨学金」として能登半島地震により被害を受けた学生への支援を行うなど、本学独自の制度により多角的に支援を行った。

令和6年4月の合理的配慮の義務化に向けた対応として、新たに学生支援センターの設置及びコーディネーター、専任職員の配置が決定し、関係部署と連携のうえ、準備、調整を進めた。

また、学生支援センターの円滑な運営に向け、障がい学生支援に関する基本方針の内容を調整するとともに、ガイドブックの更新に向けた検討を行った。

① 奨学金の採択状況

【日本学生支援機構奨学金】 採用種別奨学生数の状況
(大学)

(単位:名)

採用種別等	1年次	2年次	3年次	4年次	大学院	合計	利用者の割合	学生数 R5.5.1
貸与 第一種(無利子)	174	166	162	145	9	656	21.44%	3,060
貸与 第二種(有利子)※	173	187	163	187	0	710	23.20%	
貸与奨学金のいずれか	290	290	281	258		1,119	36.57%	
給付奨学金	93	77	78	67		315	10.29%	
第Ⅰ区分	52	50	40	32		174	—	
第Ⅱ区分	21	16	18	21		76	—	
第Ⅲ区分	11	6	10	9		36	—	
休止中	9	5	10	5		29	—	
給付・貸与奨学金利用者	321	316	315	292	9	1,253	40.95%	

(短大)

(単位：名)

採用種別等	1年次	2年次	合計	利用者の割合	学生数 R5.5.1
貸与 第一種（無利子）	25	27	52	21.40%	243
貸与 第二種（有利子）※	15	35	50	20.58%	
貸与奨学金のいずれか	33	53	86	35.39%	
給付奨学金	19	24	43	17.70%	
第Ⅰ区分	11	17	28	—	
第Ⅱ区分	2	3	5	—	
第Ⅲ区分	6	2	8	—	
休止中	0	2	2	—	
給付・貸与奨学金利用者	40	61	101	41.56%	

※第二種には、入学時特別増額貸与（一次金貸与者）を含む

【行吉学園奨学金制度・神戸女子大学大学院授業料等免除】

(単位：名)

所属	学年等	神女優秀者応援		神女経済支援		大学院 授業料等 免除制度	西川貴子 奨学金
		優秀者 表彰型	奨学生 応援型	家計 急変型	災害 支援型		
大学	1回生	—	—	0	0	—	—
	2回生	11	0	0	0	—	—
	3回生	10	3	0	0	—	—
	4回生	10	5	0	1	—	—
大学院	修士・博士前期	—	—	—	—	46	—
	博士後期	—	—	—	—	11	—
小計		31	8	0	1	57	—
短期大学	1年次	—	—	0	0	—	2
	2年次	3	1	0	0	—	1
小計		3	1	0	0	—	3
合計		34	9	0	1	57	3

※神女優秀者応援優秀者表彰型：前年の成績優秀者を学科から推薦し表彰するもの。10万円を給付

※神女優秀者応援奨学生応援型：貸与奨学金受給者かつ学業及び学生生活で優秀な成果を上げたもの。

30万円または50万円を給付。

※神女経済支援家計急変型：在学中の家計急変による修学継続援助。授業料、教育施設充実費の半額を免除

※神女経済支援災害支援型：在学中に生計維持者又は学生本人が災害等の被災者となったもの。

授業料、教育施設充実費の半額を免除

※大学院授業料等免除制度：授業料の半額又は全額、授業料及び教育施設充実費の半額または全額を免除

【大学・短大関連団体の奨学金】

No.	奨学名称	区分	金額	年次	人数
1	神戸女子大学教育後援会 育英奨学生奨学金	給付（年額）	200,000円	2～4年次	0名
2	青山会（大学同窓会）		後期分授業料	4年次	0名
3	かなめ会（短期大学同窓会）		授業料等の半	2年次	0名

※神戸女子大学同窓会青山会の給付額は、給付者の在籍学科により給付額が異なる。

② 学生表彰の状況

学生表彰制度に基づく令和5年度の表彰者は下表のとおりである。

【大学】

表彰区分		個人	団体
1	学業優秀で品行方正な全学生の模範となる者（学部生）	10名	—
2	課外活動において特に優秀な成果を挙げた者	4名	—
3	社会貢献活動において社会的に高い評価を受けた者	—	1団体
4	公的機関から表彰された者	1名	—
5	学内外の活動において他の模範となる行為があった者	10名	10団体

【短大】

表彰区分		個人	団体
1	学業優秀で品行方正な全学生の模範となる者	3名	—
2	課外活動において特に優秀な成果を挙げた者	—	—
3	社会貢献活動において社会的に高い評価を受けた者	—	—
4	公的機関から表彰された者	—	—
5	学内外の活動において他の模範となる行為があった者	—	2団体

③ 学生寮の利用状況

区分	年度	定員	入寮者	残数	入居率
行幸寮	令和5年度	108	66	42	61.1%
	令和4年度	108	97	11	89.8%
	令和3年度	108	105	3	97.2%

※天神寮は老朽化等のため令和5年度より入寮停止（希望により退寮又は行幸寮へ転寮）

(9) 保健室

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行し、感染対策は自主的な取り組みが基本となったが、その後も再拡大がみられ、保健室においても感染者への対応が引き続き求められた。（令和5年度新型コロナウイルス感染者数 293名）

感染症対策のみならず、学生が安心して大学生活を継続できるように、健康診断、健康相談、救急対応等きめ細やかな支援を実施し、他部署との連携、協働に努めた。

学生相談室ではコロナ禍の取り組みとして、通常通り開室したうえ、カウンセリングを基本としつつ、電話またはメールによる相談にも対応した。令和3年度、4年度はコロナ禍での対応となり、電話やメール相談を含む実人数となっている。令和5年度よりコロナ禍前の集計方法に戻し、電話やメール相談を含めない実人数となっている。令和5年度の学生利用状況は、昨年度と大きく変わりはない。

【保健室の利用状況（教職員除く）】

(単位：件)

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	大学		短大	大学		短大	大学		短大
	須磨	PI		須磨	PI		須磨	PI	
		177	1463	796	2627	2410	775	1422	1491
	2								
	3235			5037			2913		
学校医による健康相談	0			0			2		
嘱託医による精神保健相談	25			32			14		

【学生相談室の利用状況】(保護者と教職員を除く)

(単位：名/実数)

		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		大学		短大	大学		短大	大学		短大
		須磨	PI		須磨	PI		須磨	PI	
		相談実人数		33	18	8	54	20	5	39
		51		74			63			
相談内容別実人数	学業	4	0	0	2	0	0	2	0	0
	進路	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	心理	45	8	8	70	4	4	61	3	3
	生活	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	その他	1	0	0	1	0	0	0	0	0

(10) 教職支援

① 大学

大学では、教員採用試験の早期化に伴い、これまで1回生から4回生の間で筆記試験範囲に対応する講座を実施してきたが全面的に見直しをし、どの学年からでも勉強を始められ、尚且つ3回生受験にも対応できる段階学習に内容を大幅に変更した。令和5年度の1次合格者は158名となった。また、3回生受験した学生も1名あり、神奈川県に合格した。学生支援の新たな取り組みとして、合格した4回生学生による「Ambassador」を立ち上げ、先輩から後輩へ、学習相談、メンタル相談等 Instagram 運用を基本にして活動し、後輩への支援を行った。

卒業生支援としては、昨年度から引き続き SNS を活用し同じ自治体に就職した卒業生グループによる活発な情報交換が行われている。また、既卒教員で他の自治体受験者を対象とした教採支援も活発化してきた。「何かあれば大学の教職支援センターに相談してみよう」という雰囲気が強まり、令和5年度は3名の既卒者の教採支援を行った。

昨年度初めて開催した「神女教職フェア」については今年度「第2回神女教職フェア」を開催した。今年度は対象を幼保学生にも拡大し、遠隔、資料提供のみも含め30自治体・教育委員会が参加、フェア終了後には自治体・教育委員会の方々とは本学教職員との交流会も開催し、有意義な情報交換が行なわれた。学生の参加は190名で、「教職フェアに参加したから意識が変わりました」という声も増えてきた。今後も継続していく予定である。

【大学 教員就職者数の推移（新規卒業者）】

（単位：名）

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	正規	臨時								
認定こども園	22		22		33	1	38		38	
幼稚園	12	1	6	1	6		2		2	
小学校	34	14	46	16	52	13	50	18	38	11
中学校	7	5	5	5	6	6	10	5	11	8
高等学校	2	3	0	4	2	4	2	1	3	5
特別支援学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
養護教諭	0	0	0	4	0	0	0	2	0	3
栄養教諭	0	4	0	5	1	2	0	3	0	2
教員計	77	27	79	35	100	26	101	29	92	29
保育所・施設等	23	3	35	0	36	3	31	1	20	0

*令和元～4年度は文部科学省教員免許状取得状況調査の報告分、令和5年度は4月5日現在

*認定こども園：幼稚園型認定こども園及び幼保連携型認定こども園

*大学院、専攻科を含む

【大学 公立学校教員・保育士等採用試験の合格者数（新規卒業者）】（単位：名、延べ数）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
幼稚園・保育所等	32	23	29	16	20
小学校	55	99	104	102	89
中学校	9	6	8	22	15
高等学校	2	0	2	2	3
特別支援学校	0	0	0	0	0
養護教諭	0	0	0	0	0
栄養教諭	0	0	1	0	0
計	98	129	144	142	127

*大学院、専攻科を含む

② 短大

短大では、昨年から引き続き幼児教育学科1・2年生全員と個別面談を行い、公立幼保就職促進及び就職支援強化を図った。実習中の学生に対しては、教員協力のもと教職支援センターの利用を促していただき、また、各自治体の説明会（オンライン等）への参加を促すなどの支援を行った。さらに、幼児教育学科のカレッジアワー等を活用して教職ガイダンスを実施、また、採用試験直前には土日を利用し、面接練習及び身だしなみ指導等を行った。公立幼保採用試験の1次合格は5名、最終合格は2名（臨時任用はなし）であった。

2月9日に須磨キャンパスで今年度で開催された「第2回神女教職フェア」は幼保学生も対象にした自治体に参加されたため、短大生は保育実習中の学生がほとんどであったが、4名が参加した。

【短期大学 教員・保育士就職者数の推移（新規卒業者）】

(単位：名)

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	正規	臨時								
中学校	0	0	0	3	0	1	—	—	—	—
公立保育所	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0
私立保育所	9	8	8	0	8	0	9	0	6	0
公立幼稚園	0	1	1	0	1	1	2	0	0	0
私立幼稚園	9	14	14	0	14	1	4	0	6	0
公立こども園	1	1	1	0	1	1	1	2	0	0
私立こども園	45	33	33	0	33	0	18	0	20	0
施設	2	3	3	0	3	0	0	0	1	0
児童館、学童	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	68	60	60	4	60	4	34	2	34	0

(11) 就職支援

① 大学

大学の令和6年3月31日現在の就職率は97.5%、進路決定率は93.7%である。昨年同時点と比べ就職率が2.3%、進路決定率は2.4%改善した。企業の採用意欲は年々高まっており、高い水準を維持することができている。学生対応については対面とオンラインを併用して実施し、きめ細かい支援を行った。

② 短大

短大の令和6年3月31日現在の就職率は99.2%、進路決定率は97.1%である。昨年同時点と比べ就職率は2.9%、進路決定率は4.6%改善した。

学内企業説明会を対面とオンラインで実施し、学生の進路決定に役立てることができた。SPI対策講座をオンライン講座で実施することで、学生の利便性を高めた。

大学、短大ともに、未内定の卒業者に求人情報の提供、相談等の支援を行っている。

※ 「令和6年3月 卒業生の進路状況速報」を巻末に掲載している

(12) 入試広報

① 高校訪問の強化と親密校づくり

高校訪問においては中四国を重点エリアと位置づけ、進学相談会と高校訪問をセットにし、精力的に実施した。積極的な情報提供の結果、オープンキャンパスにおいて当該エリアからの参加者数は前年度121%の伸長となった。

また、模擬授業・高校内ガイダンス及びキャンパス見学の受入れを積極的に行い、高校生との接触機会の増加に努めた。その結果、キャンパス見学会は前年度(6回)を大きく上回る12回の実施に至った。

② 就職・資格に強いイメージの普及活動／各学科と連携したホームページの充実

活躍する卒業生、有名企業に内定した4回生をインタビューしたウェブサイト「CareerPalette」を立ち上げた。各学科やキャリアサポートセンターの協力のもと、既に70名近い情報をアップしている。

また、各学科の学生の取り組みを特集しているWebマガジン「Shinjo Mag」においては、約30記事を投稿し、「生きたホームページ」のアピールに努めた。

(13) 収益的事業

① オープンカレッジ

大学の知的財産の地域社会への還元を目的とするオープンカレッジは、ミドル・シニア世代を対象とした文学・歴史・語学を中心とした教養講座や、シニア世代に必要な健康講座を開講しており、人生100年時代の生涯学習の場として、また高齢者の社会的孤立を防ぐための居場所となるべく様々な講座を展開している。新型コロナウイルス感染症の影響により、減少していた受講生数も回復の兆しが見える。受講者数（年間）延べ2,009名、収益は4,913千円（前年比983千円増）となる。

② 貸室（教室・体育館等）

英検等検定試験の試験会場や学会・研究会、また地域のイベント会場として施設の貸出しは前年度と概ね同じである。新たにこども達育成のためダンスの練習場として体育館を貸与している。総収入は3,018千円（前年比9千円減）となる。

③ 卒業貸衣裳、自販機手数料等

学内に設置する自販機（一部食堂業者が設置するものを除く）においては、昨今の物価高騰のなか、販売価格を据え置き、手数料を下げること調整したため、収入減となった。また貸衣裳（袴）の紹介手数料は、前年度より学生数が減少しているため収益は減少しているものの、利用率は概ね同じである。寄附金とは学生への下宿紹介に伴う家主及び管理会社からのものである。その他含め次のとおりである。

・自販機手数料	467千円（前年比	161千円減）
・貸衣裳紹介手数料	2,734千円（前年比	61千円増）
・自動車教習所紹介	115千円（前年比	30千円増）
・寄付金	620千円（前年比	220千円減）

(14) 幼稚園

① 在園児数

(令和5年5月1日現在)

区分	クラス	在園児	入園児	合計
0歳児	1	—	0名	0名
1歳児		2名	1名	3名
2歳児 (満3歳児を含む)	1	3名	5名	8名
3歳児	3	18名	23名	41名
4歳児	2	40名	1名	41名
5歳児	2	55名	1名	56名
合計	8	118名	31名	149名

② 子育て支援

ア 0～2歳児クラスの保育内容及び環境を整備するとともに子育て支援の充実を図る。

イ にこにこクラブ（兵庫県補助対象事業）

未就園児の親子を対象として、毎週月・火・金曜日に実施している。火曜日は教育実習の一環となっている。

i 幼稚園での生活に向けて、安定した母子分離を図る。

ii 幼児及び保護者の交流を深め、情報交換の場とする。

ウ ぴよぴよサロン ※令和5年度より新設

0～1歳児の親子を対象に月2回（年間10回）実施した。保育室を開放し、ゆったりした時間の中で保護者同士が自由に語り合う交流の場となった。育児相談も必要に応じて行っている。

エ みんなの幼稚園（神戸市私立幼稚園連盟補助対象事業）

未就園児が幼稚園の教育及び保育を体験しながら交流を深めるとともに、安定した家族関係をつくることを目的として実施している。

未就園児親子登園日（72回） 教育相談（7回） 母親教室（1回）

園庭開放（21回）

オ 園庭開放

第1・第3水曜日（14:00～16:00）、地域の親子を対象に園庭を開放している。

カ 預かり保育（1号認定児）

ほぼ毎日、7:30から保育開始まで及び保育終了後から19:00まで実施している。

延べ利用日数 237日

延べ利用人数 4,326名

③ 地域との関わり

園児が地域行事に参加し、地域の方々と触れ合うことにより、様々な人と関わる力を身に付けている。

ア シルバーカレッジの昔あそび研究会との交流・連携

イ 高倉台一人暮らしの方のクリスマス会への参加

ウ 小・中学校との交流・連携

エ トライやるウィークの中学生受け入れ

④ 施設の充実

- ア 園舎外壁改修及び屋上防水工事（一部補助金）
- イ 遊戯室 PAC エアコン更新
- ウ 1F 西側（ひよこ組）保育室網戸取り付け
- エ 災害用備蓄倉庫設置

Ⅲ 財務の概要

1. 決算の概要

(1) 貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
固定資産	27,661,009	28,458,944	28,711,988	28,094,320	28,237,598
流動資産	7,906,726	6,994,230	6,530,537	6,251,490	4,753,017
資産の部合計	35,567,735	35,453,174	35,242,525	34,345,810	32,990,615
固定負債	1,472,268	1,505,848	1,523,196	1,522,862	1,545,305
流動負債	1,132,531	1,056,590	1,089,288	986,676	874,455
負債の部合計	2,604,799	2,562,438	2,612,484	2,509,538	2,419,760
基本金	45,296,563	45,459,594	45,855,501	45,999,448	46,126,682
繰越収支差額	△ 12,333,627	△ 12,568,858	△ 13,225,460	△ 14,163,176	△ 15,555,827
純資産の部合計	32,962,936	32,890,736	32,630,041	31,836,272	30,570,855
負債及び純資産の部合計	35,567,735	35,453,174	35,242,525	34,345,810	32,990,615

イ) 財務比率の経年比較

比率	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
運用資産余裕比率	171.8%	163.7%	169.7%	163.8%	149.2%
流動比率	698.1%	662.0%	599.5%	633.6%	543.5%
総負債比率	7.3%	7.2%	7.4%	7.3%	7.3%
前受金保有率	801.2%	737.0%	705.5%	763.3%	737.7%
基本金比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.3%	100.0%
積立率	50.0%	49.4%	50.1%	48.6%	41.5%

(2) 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

収入の部	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学生生徒等納付金収入	5,371,462	5,299,372	4,897,137	4,512,189	4,178,643
手数料収入	108,832	74,502	77,217	66,199	59,264
寄付金収入	9,749	22,561	4,873	20,083	5,195
補助金収入	495,851	789,897	940,913	830,377	812,406
資産売却収入	420	62,500	125,000	125,000	225,000
付随事業・収益事業収入	109,932	68,410	104,879	94,949	66,550
受取利息・配当金収入	6,667	15,399	29,817	29,503	24,909
雑収入	324,268	428,638	306,643	299,567	310,158
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	956,999	891,196	883,081	784,726	614,190
その他の収入	1,770,868	2,810,774	2,090,151	1,855,450	1,571,628
資金収入調整勘定	△ 1,324,926	△ 1,363,719	△ 1,168,654	△ 1,123,505	△ 993,511
前年度繰越支払資金	8,121,577	7,667,919	6,568,362	6,230,228	5,989,731
収入の部合計	15,951,699	16,767,449	14,859,419	13,724,766	12,864,163

支出の部	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費支出	3,948,984	4,024,590	3,861,593	3,943,446	3,986,314
教育研究経費支出	1,161,089	1,532,409	1,410,367	1,480,513	1,493,133
管理経費支出	484,399	488,373	667,641	550,281	560,749
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	59,650	77,512	242,491	56,514	62,745
設備関係支出	155,062	96,128	170,517	90,168	64,943
資産運用支出	1,201,614	2,428,821	929,576	332,578	1,008,109
その他の支出	1,399,629	1,664,129	1,488,384	1,428,507	1,364,572
資金支出調整勘定	△ 126,647	△ 112,875	△ 141,378	△ 146,972	△ 207,073
翌年度繰越支払資金	7,667,919	6,568,362	6,230,228	5,989,731	4,530,671
支出の部合計	15,951,699	16,767,449	14,859,419	13,724,766	12,864,163

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	6,419,908	6,666,557	6,331,190	5,823,363	5,432,217
教育活動資金支出計	5,594,472	6,045,373	5,939,600	5,974,237	6,040,198
差引	825,437	621,183	391,588	△ 150,874	△ 607,981
調整勘定等	△ 178,881	△ 264,705	146,095	△ 54,741	△ 69,217
教育活動資金収支差額	646,556	356,478	537,683	△ 205,615	△ 677,198
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	300,606	316,822	300,472	300,000	0
施設整備等活動資金支出計	514,712	473,639	713,008	446,683	127,688
差引	△ 214,106	△ 156,818	△ 412,536	△ 146,683	△ 127,688
調整勘定等	0	1,889	1,287	△ 3,176	△ 289
施設整備等活動資金収支差額	△ 214,106	△ 154,929	△ 411,249	△ 149,859	△ 127,977
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）	432,450	201,549	126,434	△ 355,474	△ 805,175
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	1,296,381	2,370,448	1,538,248	1,432,495	1,581,114
その他の活動資金支出計	2,182,487	3,671,556	2,002,816	1,317,519	2,234,999
差引	△ 886,106	△ 1,301,107	△ 464,568	114,977	△ 653,886
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	△ 886,106	△ 1,301,107	△ 464,568	114,977	△ 653,886
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）	△ 453,657	△ 1,099,557	△ 338,134	△ 240,497	△ 1,459,061
前年度繰越支払資金	8,121,576	7,667,919	6,568,362	6,230,228	5,989,731
翌年度繰越支払資金	7,667,919	6,568,362	6,230,228	5,989,731	4,530,670

ウ) 財務比率の経年比較

比率	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動資金収支差額比率	10.1%	5.3%	8.5%	△3.5%	△12.5%

(3) 事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	5,371,462	5,299,371	4,897,137	4,512,189	4,178,643
	手数料	108,832	74,502	77,217	66,198	59,263
	寄付金	9,960	22,561	4,873	20,083	5,195
	経常費等補助金	495,665	773,075	940,441	830,377	812,406
	付随事業収入	109,932	68,409	104,879	94,949	66,550
	雑収入	324,647	435,144	306,643	299,567	310,159
	教育活動収入計	6,420,498	6,673,062	6,331,189	5,823,363	5,432,216
	事業活動支出の部					
	人件費	3,938,936	4,064,676	3,878,941	3,943,112	4,008,756
	教育研究経費	1,835,522	2,162,113	1,998,167	2,089,385	2,095,339
	管理経費	548,085	549,617	732,294	613,202	620,793
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	6,322,543	6,776,406	6,609,402	6,645,699	6,724,888
教育活動収支差額	97,955	△ 103,344	△ 278,213	△ 822,336	△ 1,292,672	
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	6,667	15,399	30,153	29,839	25,244
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	6,667	15,399	30,153	29,839	25,244
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	0	0	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0	0	0	
教育活動外収支差額	6,667	15,399	30,153	29,839	25,244	
経常収支差額	104,622	△ 87,945	△ 248,060	△ 792,497	△ 1,267,428	
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	0	0	0	0	3,474
	その他の特別収入	1,733	19,802	3,563	2,720	6,135
	特別収入計	1,733	19,802	3,563	2,720	9,609
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	4,538	4,057	16,198	3,991	7,599
	その他の特別支出	0	0	0	0	0
	特別支出計	4,538	4,057	16,198	3,991	7,599
特別収支差額	△ 2,805	15,745	△ 12,635	△ 1,271	2,010	
基本金組入前当年度収支差額	101,817	△ 72,200	△ 260,695	△ 793,768	△ 1,265,418	
基本金組入額合計	△ 200,417	△ 163,031	△ 395,907	△ 143,947	△ 127,234	
当年度収支差額	△ 98,600	△ 235,231	△ 656,602	△ 937,715	△ 1,392,652	
前年度繰越収支差額	△ 12,235,028	△ 12,333,627	△ 12,568,858	△ 13,225,460	△ 14,163,176	
基本金取崩額	0	0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 12,333,627	△ 12,568,858	△ 13,225,460	△ 14,163,175	△ 15,555,828	
(参考)						
事業活動収入計	6,428,898	6,708,263	6,364,905	5,855,922	5,467,069	
事業活動支出計	6,327,081	6,780,463	6,625,600	6,649,690	6,732,487	

イ) 財務比率の経年比較

比率	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費比率	61.3%	60.8%	61.0%	67.4%	73.5%
教育研究経費比率	28.6%	32.3%	31.4%	35.7%	38.4%
管理経費比率	8.5%	8.2%	11.5%	10.5%	11.4%
事業活動収支差額比率	1.6%	△1.1%	△4.1%	△13.6%	△23.1%
学生生徒等納付金比率	83.6%	79.2%	77.0%	77.1%	76.6%
経常収支差額比率	1.6%	△1.3%	△3.9%	△13.5%	△23.2%

2. その他

(1) 有価証券の状況

(単位：千円)

種 類	当年度（令和6年3月31日）		
	貸借対照計上額	時価	差額
債 券	1,799,748	1,742,064	△ 57,684
株 式	—	—	—
投資信託	—	—	—
貸付信託	62,500	62,413	△ 87
そ の 他	—	—	—
合 計	1,862,248	1,804,477	△ 57,771
時価のない有価証券	1,438		
有価証券合計	1,863,686		

(2) 借入金の状況 該当なし

(3) 学校債の状況 該当なし

(4) 寄付金の状況

(単位：千円)

科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
寄付金収入	9,749	22,561	4,873	20,083	5,195
特別寄付金収入	6,769	7,138	1,933	18,108	3,415
教育研究特別寄付金収入	2,279	2,242	988	16,108	3,215
施設設備寄付金収入	0	0	0	0	0
奨学研究助成金収入	600	600	0	0	0
公募研究助成金収入	3,890	4,296	945	2,000	200
一般寄付金収入	2,980	15,423	2,940	1,975	1,780
一般寄付金収入（保証人）	1,900	580	470	610	560
個人寄付金収入（その他）	730	10,493	1,665	965	870
法人寄付金収入（その他）	350	4,350	805	400	350

(5) 補助金の状況

(単位：千円)

科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
補助金収入	495,851	789,897	940,914	830,377	812,407
国庫補助金収入	440,851	722,985	726,466	641,956	619,660
国庫補助金収入（教）	440,851	486,010	499,793	429,929	413,074
国庫補助金収入（施）	0	12,130	0	0	0
授業料等減免費交付金	0	224,845	226,673	212,028	206,586
地方公共団体補助金収入	54,001	66,912	35,165	37,018	44,790
地公体補助金収入（教）	53,815	62,220	34,693	37,018	44,790
地公体補助金収入（施）	186	4,692	472	0	0
施設型給付費収入	0	0	179,282	151,403	147,956
学術研究振興資金収入	1,000	0	0	0	0

(6) 収益事業の状況 該当なし

(7) 関連当事者との取引の状況

ア) 関連当事者 該当なし

イ) 出資会社 該当なし

(8) 学校法人間財務取引 該当なし

3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

令和5年度における事業活動収入は、学生数前年比「△257名」による学生生徒等納付金「333百万円」の減少、寄付金・経常費等補助金・付随事業収入「61百万円」の減少により、前年比「△389百万円」となった。

事業活動支出は、人件費が前年比「+66百万円」、教育研究経費が前年比「+6百万円」、管理経費が前年比「+8百万円」となったことにより、「80百万円」の増加となった。

以上により、基本金組入前当年度収支差額は「△1,266百万円」となり、前年比「△473百万円」の赤字基調となった。基本金組入額は「△127百万円」、これにより当年度収支差額は「△1,393百万円」の支出超過となり、前年比では「△456百万円」となった。

令和6年度の学生募集は、大学が入学定員「965名」に対して入学者数「569名」、短期大学が入学定員「120名」に対して入学者数「105名」となり、全体の学生数は前年比「△271名」となった。入学者数（学生数）の減少が直接収支に影響しており、令和6年度予算においては「人件費、経常費、臨時費、研究費」の削減により支出の抑制を図っている。



「自立心・対話力・創造性」
を培う教育を目指しています

学校法人行吉学園

〒650-0046

神戸市中央区港島中町4丁目7-2

<https://www.yg.kobe-wu.ac.jp>

Tel :078-303-4712

Fax:078-303-4713